

被保険者の過失が大きい場合であっても（※「事故証明書」が甲の場合でも）相手すべて加害者となる。

同一事故で被害者が2名以上いる場合には2人目以後については、コピーでも差し支えない。

## 事故発生状況報告書

事故証明書番	第 事故証明書の番号 号	当事者	甲 (加害者)	相手車又は同乗者の運転者の氏名			
自動車の番号	相手加害者の登録車両番号	当事者	乙 (被害者)	被保険者氏名	運転・同乗 歩行・その他		
天候	晴・曇・雨・雪・霧・( )	交通状況	混雑・普通・閑散	明暗	昼間・夜間・明け方・夕方		
道路状況	舗装 (してある・してない) ・歩道 (ある・ない) ・道路の見通し (良い・悪い) 中央車線 (ある・ない) ・道路の状況 (直線・カーブ・平坦・坂・積雪路・凍結路)						
信号又は標識	信号 (ある・ない) ・自車側信号 (青・赤・黄) ・相手方信号 (青・赤・黄) 駐停車禁止 (されている・されていない) ・その他標識 (一時停止)						
速度	甲車両 相手車 km/h (制限速度 km/h) ・乙車両 自転車 おおよその速度及び当該道路の速度制限を記載する。 km/h (制限速度 km/h)						

該当する状況にそれぞれ○をする。

(右の記号を使って乙の立場で記入して下さい。また、車線数も正確に記入し、道路幅はmで記入して下さい。)

※詳細に記載  
事故現場における自動車と被害者(甲者と乙者)との状況を図示する。  
あくまでも、自車を乙車とし相手車を甲車とし図示し道路幅をmで記載する。

事故発生状況図 (道路幅を m で記入してください。)

自車 (乙)

相手車 (甲)

進行方向

信号

一時停止

人

自転車

バイク

事故発生状況 (経緯)

記入例  
優先道路を走行中の乙が、一時停止のある交差点から、減速をただけで交差点へ進入して来た甲と衝突し、乙が負傷した。

出来るだけ詳細に記載する。(コメントが未記入だと自賠責から返送されてしまうので必ず記入すること)

被害者の負傷状況

日  出勤日  休日 (定休日・休暇含む)  その他 ( )

時間帯  勤務時間中  通勤途上  出張中  私用  その他 ( )  
(パート・アルバイト含む)

場所  会社内  道路上  自宅  その他 ( )

労災特別加入※ (被害者が代表取締役等役員の場合のみ記入)  加入有  加入無

該当する状況にそれぞれ○をする。

上記内容に間違いありません。

年 月 日 届出者 (被保険者) : 被保険者氏名を記入し印を押してください

(注) 本書面に代わる同等の内容の書面がある場合には、その書面の提出をもって本書面の代わりとすることも可能です。ただし、その場合には、当該書面の余白部分に「上記内容に間違いありません」と記した上、届出書に署名又は記名押印をして貰って下さい。  
※社長、役員等の経営者が加入する労災保険

捨印も押してください

印